

# 高齢社会 医療政策推進セミナー

主催：千葉大学病院高齢社会医療政策研究センター  
共催：厚生労働統計協会

対象：行政担当者の方

日時：平成31年1月23日（水曜日）  
午前9時～午後5時（昼食1時間）

場所：千葉大学西千葉キャンパス  
アカデミックリンクセンター  
セミナールームまなび（I棟1階）

<http://alc.chiba-u.jp/contact/ibuildingmap.pdf>

講師：1. 千葉大学病院高齢社会医療政策センター長  
（兼任）予防医学センター臨床疫学教授  
藤田伸輔

2. 東京大学政策ビジョン研究センター  
准教授 井出博生

内容：1. 高齢社会の問題把握  
2. データを活用した政策推進  
フィードフォワード法  
課題構造のバリューグラフ  
ロジックモデル

到達目標：政策立案とその進捗管理手法を習得

費用：1名5000円（テキスト代を含む）

昼食は学生生協等を用いて下さい

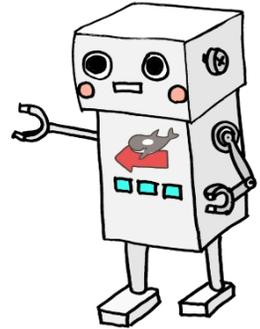
詳細についてはホームページをご参照ください

<https://www.clinicaldesignchiba-u.com/>

申し込み方法：インターネットでお申し込み下さい

[https://jp.surveymonkey.com/r/policy\\_seminar](https://jp.surveymonkey.com/r/policy_seminar)

申し込み締め切り日：1月18日



平成30年11月9日  
千葉大学医学部附属病院  
高齢社会医療政策研究センター長  
藤田伸輔

千葉県内市町村  
医療介護政策担当者殿

ようやく秋の気配がただよい始めましたがご健勝のことと存じます。

さて、平成30年7月3日厚生労働統計協会の主催により「**在宅医療・介護連携に係るデータ分析結果市町村報告会**」を開催させていただき、10月17日には「高齢社会医療政策推進セミナー」を開催しましたが、大変ご好評をいただきましたので同じ内容で第2回を開催することとしました。

データを活用した政策立案と実施について具体的な説明が欲しいというご要望をいただきました。統計データはとてもインパクトのあるものですが、運用は必ずしも簡単ではないとお考えの方も多いかと思えます。

統計データをどのように解釈し、政策課題と同関連付けて政策立案するのか。立案から実践に移行する際にどのように管理したらよいのか。具体的に学ぶセミナーを企画しました。

準備の遅れから開催日まで日数が少なく申し訳ございませんが、ぜひご活用ください。

ネットからお申込みいただいた方に振り込み用紙を送付させていただきます。

お問い合わせ：千葉大学医学部附属病院 高齢社会医療政策研究センター

電話 043-222-7171 内線71317

eMail fujitan@faculty.chiba-u.jp